

## Stress Coping and Palliated Care Nursing 1

2 units

Chiemi Onishi · PROFESSOR / HEALTH SCIENCES

**Target)** がん患者とその家族に対して卓越した看護を実践する上で基盤となる主要理論・概念とその活用について探求する。

**Outline)** がん看護専門看護師として、がん患者とその家族に卓越した看護を提供するために活用できる理論や概念について理解を深める。また論文抄読をもとに実践への適用についてプレゼンテーションを行い、その有用性について考察を深める。具体的には、危機理論、ストレス・コーピング、セルフケアなどを取り上げる。

**Keyword)** *stress-coping, Crisis Theory*, セルフケア, ボディ・イメージ, 悲嘆, ソーシャルサポート, がん看護

**Relational Lecture)** “Seminar and Practice in Stress Coping and Palliated Care Nursing”(0.5), “Stress Coping and Palliated Care Nursing 2”(0.5)

**Schedule)**

1. 1回 / がん患者・家族のケアの改善と理論の活用
2. 2回 / ストレス-コーピング
3. 3回 / 喪失/危機の概念・理論
4. 4回 / 危機介入モデル
5. 5回 / 悲嘆
6. 6回 / ボディ・イメージ
7. 7回 / セルフケア
8. 8回 / ソーシャル・サポート
9. 9回 / がんサバイバー/がんサバイバーシップ
10. 10回 / 課題プレゼンテーション 1: ストレス・コーピング
11. 11回 / 課題プレゼンテーション 2: セルフケア
12. 12回 / 課題プレゼンテーション 3: 危機理論
13. 13回 / 課題プレゼンテーション 4: ボディ・イメージ
14. 14回 / 課題プレゼンテーション 5: ソーシャル・サポート
15. 15回 / 課題プレゼンテーション 6: 悲嘆

**Evaluation Criteria)** 評価 授業への参加度・プレゼンテーション (80%), レポート (20%)

**Textbook)** 指定無し, 各時間で文献等提示

**Reference)** 随時紹介

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217005>

**Contact)**

⇒ Onishi (+81-88-633-9026, [conishi@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:conishi@medsci.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (Office Hour: Thursday, 17:00~)